

令和6年1月24日

庄内町長 富 樫 透 殿

庄内町行政改革推進委員会
委員長 小 野 英 一

令和5年度庄内町行政評価に係る外部評価結果について（意見書）

今年度、庄内町にて実施された行財政改革における内部評価結果及び行政改革の取り組みについて、町民の視点に立って検証した結果、下記のとおりまとめましたので意見書を提出します。

記

1 委員会開催状況

令和5年10月26日（火） 第1回行政改革推進委員会

2 審議した事項

令和5年度庄内町行政評価及び行政改革の取組報告に係る外部評価について

3 委員名簿

小野英一、原田周子、土田 徹、長南美香、國本美鈴、伊計麻衣子

4 事務局

佐藤博文、我妻則昭、加藤友紀

5 審議の結果

「令和5年度庄内町行政評価及び行政改革の取組報告に係る外部評価」の結果については、別紙のとおりです。

別 紙

1 審議の対象とした行政報告

令和 5 年度行政評価専門部会報告書

令和 5 年度行政改革の取組報告資料

2 審議にあたっての視点

本委員会では、町が行った内部評価結果や取組状況について審議のうえ、それぞれの事業に対し、今後の方向性を示しました。

(1) 第 3 次庄内町行財政改革推進計画の進捗状況について

(2) 今後の本町行政改革について

3 審議の結果

(1) 審議結果

区分	本委員会の評価結果
<p>① 第 3 次 庄内町行財政改革推進計画 基本方針 1： 行政のスマート化について</p>	<p>昨年度の意見は、各課での取り組みにより、成果がうかがえる。引き続き、次の点について参考のうえ、さらなる行政のスマート化の目標に向かって取り組んでいただきたい。</p> <p>【住民の利便性の向上】 マイナンバーカードの交付率は向上しているが、カードの活用の実感がない。町独自の活用を模索し、更なる利便性の向上を図ること。</p> <p>【行政のスマート化全般】 町の LINE の登録者数が 12,000 人を超えているが、更なる登録者数の増加によりアクセスしやすい行政窓口や情報発信ツールとして活用を図るとともに、町民アンケートを実施するなど町民参画や意見聴取の機会として工夫すること。</p> <p>【事務作業の効率化・受益者負担の適正化】 諸証明手数料について、町民サービスの向上と窓口業務の効率化となるコンビニ交付を促進させるため、手数料の見直しより誘導するなど、具体的な手法について検討すること。</p> <p>【各種計画数の削減】 作成すべき計画数が増えてはいるが、町の裁量で削減できるものは、積極的に削減すること。</p>

		<p>【事務作業の効率化】 AI-OCR や RPA の活用により、業務の効率化や生産性の向上、人の判断の不要な定型業務の自動化を図るとともに、人にしか出来ない業務でのマンパワー活用を図ること。</p> <p>【全般】 数値化や見える化により、町民にとって分かりやすい周知を行うとともに、町民と同じ目線で評価されているか検証すること。</p>
②	<p>第3次 庄内町行財政改革推進計画 基本方針2： 持続可能な財政の運営について</p>	<p>【全般】 町の活性化に向けては、特に若い人材の意見を取り入れることが重要であり、地元への帰属性と町の活性化の意識を高める効果が期待できることから、声を反映できる仕組みを検討すること。</p> <p>【新規財源の活用】 町内企業に国や県の補助金の活用など周知するとともに、その手続きが困難な企業に対してのコンサルタント業務の支援など検討すること。</p>

(2) 今後の本町行政改革について

令和4年度庄内町行政評価及び行政改革の取組報告に係る外部評価(意見書)に基づく検討や反映

協議のなかで、次の意見も出されました。

【全般】

人口は減少しても、行政の仕事は増加し、ますます多様化することが想定される。全国的にも若年層の職員の退職が増加しているが、まちづくりを担う職員の満足度の向上を地域の活性化につなげ、行政機能の維持と更なる向上を図ること。

【全般】

新型コロナウイルス感染症を契機に生活様式や業務のやり方等大きく変わったものがある。見直しする機会として、今後の事業等に経験を生かすこと。